

今月の「食の安全」 その2

アメリカはゴリ押しで牛肉の安全検査を30ヶ月齢以上にしようとしています。日本も以外にねばり強く交渉していましたが、最近の政府は「20ヶ月齢未満の牛は検査の必要がない」という方針へ国民の意見を誘導しようとしています。

一度言いなりで輸入再開したら、次はかならずアメリカから「30ヶ月齢未満の検査の必要はない」という方針を押しつけられ、全量輸入再開へと持って行かれると思います。吉野家をはじめとする外食産業は、日本でBSEが発生したときにいったい何と言っていましたか？「国産牛は危険ですが、うちの店では安心安全なアメリカ牛を使っています」と、もしもこの言葉が真実であれば、安全検査をないがしろにしてまで輸入再開を急がせるはずはないでしょう？

BSEの騒動の中で、食肉検査でBSEを発見し公表したために、周囲の圧力などのストレスで自殺した若い女性獣医師がいました。いったい彼女の死はなんだったのでしょうかね。

